

千葉市食育おむすびプロジェクト 第2回商品化おむすびセットが決定！ ～大学生考案レシピを商品化 産学官連携で若い世代の食課題解決へ～

千葉市では、第4次千葉市食育推進計画に基づき、本市の食に関する課題解決に向けて、イオンリテール株式会社および千葉県立保健医療大学と連携し、「千葉市食育おむすびプロジェクト」を実施しています。本プロジェクトは、同大学栄養学科の学生が考案したおむすびのレシピを基に、イオンリテール株式会社が商品化を行うことで、食環境づくりに取り組むものです。

このたび、本プロジェクトにおける第2回商品化「おむすびセット」が決定しましたので、お知らせします。

また、小学校やトップスポーツチームと連携した啓発活動も展開しますので、併せてお知らせします。

1 第2回プロジェクト内容

(1) 概要


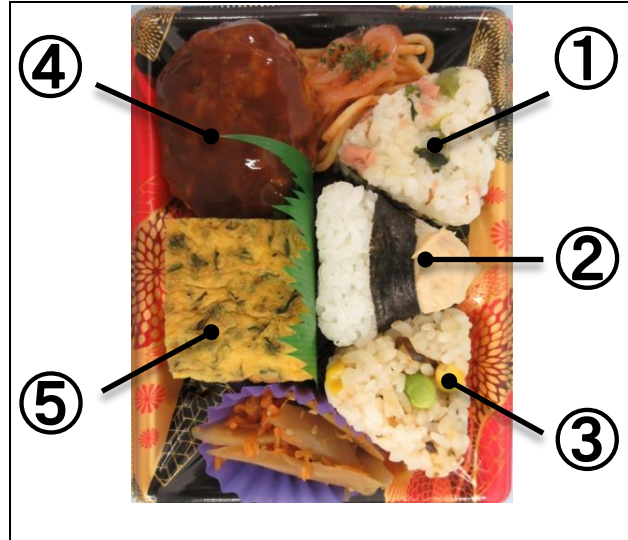
本市の食の課題である「朝食欠食」「孤食」「野菜摂取量の不足」の解決に向け、健康に関心を持ちにくい若い世代（子ども～青壮年期）を主なターゲットとし、朝食・共食・野菜摂取の3つのテーマに加え、千葉市産の土気からし菜の漬物の使用を必須要件として設定しました。これに基づき、栄養学科の大学生20人が参加し、おむすびとおかずのセットを考案しました。



ロゴマーク

(2) 商品化が決定したおむすびセット

- ・商品名「千葉市産土気からし菜を使用した玉子焼きと3種おむすびセット」

	
	<p>【主なセット内容】</p> <ul style="list-style-type: none">①土気からし菜とハムおむすび②ツナマヨおむすび③枝豆コーンと塩昆布おむすび④野菜ハンバーグ⑤土気からし菜厚焼玉子 <p>※土気からし菜の漬物は、千葉市食ブランド「千」認定品を原材料として使用</p>

(3) 販売期間

令和8年6月10日(水)～23日(火)

(4) 販売店舗

千葉県・東京都・神奈川県・山梨県の「イオン」「イオンスタイル」など89店舗

(5) 販売価格

1セット 398円(税込み429.84円)

※単品購入の場合、小数点以下は切り捨てになります。

(6) おすすめポイント

- ・千葉市食のブランド「千」の土気からし菜をおむすびと玉子焼きの両方で味わえる
- ・小ぶりなおむすびで、子どもから大人まで食べやすいサイズ
- ・刻んだ野菜を人気のハンバーグに入れることで、食べやすさを工夫

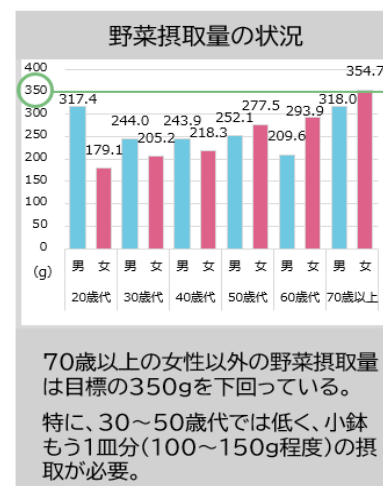
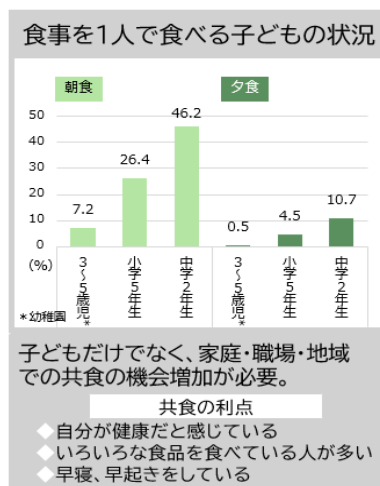
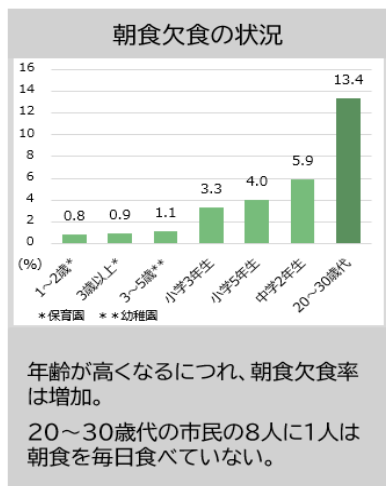
(7) レシピについて

本プロジェクトで商品化した、おむすび、ハンバーグ、厚焼玉子のレシピはホームページ等で公表します。

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkofukushi/suishin/syokuikuomusubiproject1.html>



(8) 「千葉市食育おむすびプロジェクト」で取り組む本市の食の課題



2 小学校における啓発活動

朝食欠食をはじめとする食の課題への取り組みは、子どもの頃からの生活習慣が重要であることから、小学校を通じて児童およびその保護者に向けた啓発を実施します。

(1) 市内小学校で第1回商品化おむすびのレシピを使用し、給食の一品として提供します。

また、朝食もしくは共食・野菜摂取について大学生による講話を行います。

- ・実施校 市立幸町第三小学校、市立誉田小学校、市立あすみが丘小学校

(2) 幸町第三小学校給食委員会協力による商品化おむすびセットのキャッチフレーズを作成しステッカー等に掲載します。

商品	「千葉市がつくった！いいとこどりの土気からし菜入り3種のおむすびセット！」
朝食	みんなで食べよう 今日の元気をつくる朝ごはん
野菜	野菜でできる健康な体
共食	おいしいごはん みんなで食べたら 倍おいしい

(3) リーフレット「食育情報誌」等に、商品化おむすびセットのレシピを掲載します。

- ・配布対象 市内の市立小学校3・4年生全員

3 千葉市をホームタウンとするトップスポーツチームと連携した啓発活動

健康に関心を持ちづらい若い世代に対し、パフォーマンスの維持・向上の観点からトップスポーツチームの選手と連携した啓発を実施します。

(1) 就労世代向けオンデマンドセミナー

市内の就労世代を対象に、オンデマンド形式のセミナー動画を配信します。千葉ドットの手塚 大選手に、栄養学科の大学生がインタビュー形式で行うセミナーです。申込者を対象に千葉市公式 YouTube にて限定配信します。

- ・タイトル「アスリートに聞く パフォーマンスを支える食習慣」

- ・配信期間

令和8年12月25日（金）まで

※申し込みは11月30日（月）まで

- ・申込方法

ちば電子申請サービスからお申し込みください。



(2) PR動画・ポスターの展開

ジェフユナイテッド市原・千葉、千葉ドットの選手（計6人）による、商品化おむすびセットのPR動画およびポスターを制作し、各種イベントやイオン、イオンスタイル店舗において展開します。

<協力選手>

- ・ジェフユナイテッド市原・千葉 岩井 琢朗 選手、植田 悠太 選手

- ・ジェフユナイテッド市原・千葉レディース 石田 菜々海 選手、鈴木 堇 選手

- ・千葉ドット 松下 正明 選手、手塚 大 選手

選手からのオススメコメントが入ったポスター（抜粋） ※全体版は別紙



4 イベント等での取り組み

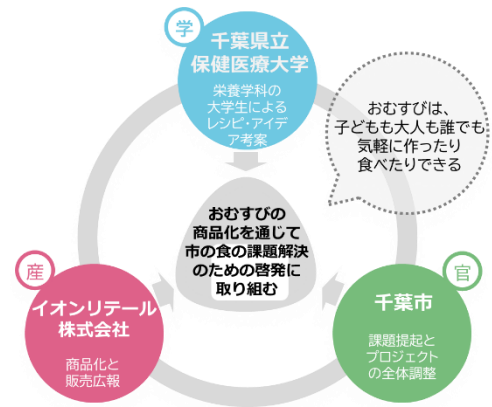
(1) 令和8年6月14日（日）にイオンスタイル鎌取で開催される千葉市フェアにおいて、ブース出展と学生によるステージPRを行い、おむすびセットの抽選会を実施します。

(2) 令和8年6月21日（日）にZOZOマリンスタジアムで開催されるALL for CHIBAに千葉市ブースとして出展し、学生によるワークショップを実施します。ワークショップでは、「こんなおむすび、あったらいいな」をテーマに、子どもたちが世界にひとつだけのおむすびを自由に考えて楽しむ内容です。

<参考>

1 第1回商品化おむすび

第1回「千葉市食育おむすびプロジェクト」では、県産生ノリを使用した「ノリノリのり佃煮」、銚子産イワシの梅煮を使用した「イワシきんぴらおむすび」、県産豚を使用した「元気豚ケチャップライス」の3種類のおむすびを開発しました。これらのおむすびは、令和7年6月から7月までの1カ月間、千葉県・東京都・神奈川県・山梨県の「イオン」「イオンスタイル」など85店舗で販売しました。



各社の関わりイメージ

2 第4次千葉市食育推進計画について（令和6年3月策定）

(1) 策定目的

市民一人ひとりが食の大切さを考え、健康で心豊かな生活が送れるよう、市民や行政、関係機関・団体等が連携して取り組むための行動計画として第4次千葉市食育推進計画を策定しました。

(2) 基本理念

子どもから大人まで、市民一人一人が「食」を大切にし、正しい知識と選ぶ力を身につけ、健全な食生活を実践することで、「こころ」と「からだ」の健康と豊かな人間性を育む。

(3) 基本目標

- ・健康につながる食育の推進
- ・未来につながる食育の推進（地産地消・食文化の継承など）
- ・地域や関係者がつながる食育の推進（誰もが健康になれる環境づくり）

(4) 推進キャッチフレーズ

「おいしいね、たのしいね、たべるっただいじだね」

(5) 数値目標

11項目41指標の達成を目指します。

目標項目（抜粋）	対象	現状値	目標値	
朝食の習慣がある市民を増やす （朝食を欠食する人の割合）	20～30歳代	13.4%	減少	
共食をしている市民を増やす （食事を1人で食べる子どもの割合）	朝食	小学5年生	26.4%	減少
		中学2年生	46.2%	減少
	夕食	小学5年生	4.5%	減少
		中学2年生	10.7%	減少
健康的な食生活を実践する市民を増やす （1日あたりの野菜摂取量の平均値）	20歳以上の市民	278g	350g以上	